

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	13
大学・短大名	東北学院大学	学部・学科	文学部英文学科
授業科目名	高校生のための英文学科 公開講義	担当教員名	英文学科教員
開講期間	10月の土曜(2回)予定	開講曜日・時間	土曜・13:15-14:45
受入人数	100	会場	土樋キャンパス ホーイ記念館
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	☒ ①対面のみ ☐ ②オンラインのみ ☐ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	英文学科の二つの学問分野、「英米文学分野」と「英語学分野」で、実際にどのようなことを学べるのかを知り、英語学習に活用できるようになる。		
授業内容・計画等	第1回. 英米文学分野教員による講義(講義題未定) 英米文学分野での学びの紹介と、その英語学習への活用の提言 第2回. 英語学分野教員による講義(講義題未定) 英語学分野での学びの紹介と、その英語学習への活用の提言		
テキスト・教材・参考書等	テキストは特にありません。必要に応じて、プリントを配布します。		
履修上の注意	関心のある回だけの受講も歓迎します。大学のホームページにも情報が載るのでご覧ください。		
高校生へのメッセージ等	大学で文学を学びたいという人、大学で英語学・言語学を学びたいという人、大歓迎です。ぜひご来場下さい。 大学で何を学びたいかまだ分からないという人、大歓迎です。ぜひご来場下さい。 文学を学ぶとはどういうことか、英語学・言語学を学ぶとはどういうことか、かみ砕いてご説明します。英語を学ぶことにも生かすことができる知識をお伝えします。		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	14
大学・短大名	東北学院大学	学部・学科	文学部英文学科
授業科目名	英米文学概説II	担当教員名	福士 航
開講期間	9月19日～1月23日	開講曜日・時間	金 13:15-14:45
受入人数	若干名	会場	土樋キャンパス 842教室
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	☒ ①対面のみ ☐ ②オンラインのみ ☐ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	1) 詩の韻律分析ができる。 2) 詩の比喩表現分析ができる。 3) 演劇のジャンルの特性を理解し、説明できる。 4) 演劇と社会との関わりを理解し、説明できる。 5) 英米の詩・演劇作品について学んだ事柄をどのように自分の英語指導に活かすことができるかについて具体的な提案をすることができる。		
授業内容・計画等	英米の詩と演劇を研究するために必要となる概念を学び、受講生が英米詩・演劇作品を批評的に読むことができるようになることを目指す。代表的な英米の詩・演劇作品を、受講生自らが主体的に調査・精読しながら、①詩(演劇作品)の韻律分析、②詩(演劇作品)の比喩分析、③演劇のジャンルの特性、④演劇(詩)の社会との関わり、⑤重要な英語表現の理解、⑥英語指導への具体例の提案、などについて学ぶ。英米の文化の重要な一部となっている詩・演劇作品の理解を通じて、英米詩・演劇研究の初めの一歩を踏み出すとともに、英語表現力の涵養をも目指す。 <各回の内容> 第1回 イン트로ダクション: 授業の進め方／詩的言語と日常言語 第2回 詩とは何か?／詩を研究するとはどういう行為か?／詩の韻律とは何か? 第3回 Sir Philip Sidney, _Astrophel and Stella_ 1 第4回 Edmund Spenser, Amoretti 2 第5回 William Shakespeare, Sonnet 18 第6回 William Shakespeare, Sonnets 20 第7回 John Donne, 'The Flea' 第8回 Ben Jonson, 'On my first son' 第9回 詩の小テスト／演劇とは何か?／演劇を研究するとはどういう行為か?／Verse DramaとProse Drama 第10回 Christopher Marlowe, Doctor Faustus 第11回 William Shakespeareの悲劇 第12回 William Shakespeareの喜劇 第13回 Ben Jonson, Volpone 第14回 Aphra Behnの演劇 第15回 R.B. Sheridan, School for Scandal、まとめ		
テキスト・教材・参考書等			
テキストは特にありません。必要に応じて、プリントを配布します。			

履修上の注意	
関心のある回だけの受講も歓迎します。	
高校生へのメッセージ等	
大学で文学を学びたいという人、大学で英語学・言語学を学びたいという人、大歓迎です。ぜひご来場下さい。 大学で何を学びたいかまだ分からないという人、大歓迎です。ぜひご来場下さい。 文学を学ぶとはどういうことか、英語学・言語学を学ぶとはどういうことか、かみ砕いてご説明します。英語を学ぶことにも生かすことができる知識をお伝えします。	

(様式2記入例)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	15
--	--	-------	----

大学・短大名	東北学院大学	学部・学科	法学部/法律学科
授業科目名	刑法各論Ⅱ	担当教員名	宮川 基
開講期間	9/22～1/26(4か月)	開講曜日・時間	月 16:45～18:15
受入人数	10	会場	土樋キャンパス 701教室
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ ②オンラインのみ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	オンラインで実施する際はGoogle Meetを使用		
授業の目標等	①各犯罪の成立要件について正確な知識を身に付ける。 ②各犯罪に関連する判例について正確な知識を身に付ける。		
授業内容・計画等	第1回 強盗罪と強盗致死傷罪について説明する。 第2回 事後強盗罪について説明する。 第3回 詐欺罪における欺罔行為と錯誤について説明する。 第4回 詐欺罪における財産上の損害について説明する。 第5回 特殊詐欺について説明する。 第6回 恐喝罪について説明する。 第7回 横領罪について説明する。 第8回 背任罪について説明する。 第9回 盗品等に関する罪について説明する。 第10回 毀棄罪について説明する。 第11回 放火罪について説明する。 第12回 文書偽造罪の説明をする。 第13回 証拠隠滅罪・犯人蔵匿罪・偽証罪について説明する。 第14回 公務執行妨害罪について説明する。 第15回 賄賂の罪について説明する。		
テキスト・教材・参考書等	テキストは特にありません。参考図書などは、講義の中で紹介されます。		
履修上の注意	プリントを配布します。		
高校生へのメッセージ等	この授業では、ニュース等で見聞したことがある犯罪について学ぶことができます。		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	16
大学・短大名	東北学院大学	学部・学科	法学部法律学科
授業科目名	法哲学Ⅱ	担当教員名	陶久利彦
開講期間	9/19～1/23	開講曜日・時間	金 16:45～18:15
受入人数	若干名	会場	土樋キャンパス 632教室
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	☒ ①対面のみ ☐ ②オンラインのみ ☐ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	法と生命倫理 人が誕生する際の諸問題から始め、医療倫理に目を向けた後、人が死に至るときの問題にまで、法と生命倫理との交錯を検討する。		
授業内容・計画等	1. ガイダンス、2. 生殖補助医療①、3. 生殖補助医療②、4. 生殖補助医療③、5. 人工妊娠中絶一般、6. 胎児条項、7. 自己決定権、8. 医師と患者の関係①、9. 医師と患者の関係②、10. 有限の医療資源、11. 臓器移植、12. 医療への警察の介入、13. 人間の尊厳、14. 安楽死・尊厳死、15. まとめ		
テキスト・教材・参考書等	授業に応じて、適宜指示する。		
履修上の注意	講義ノートは毎回、受講生のメールアドレス宛送付します。受講の際にはその資料を参考にしてください。		
高校生へのメッセージ等	授業終了時刻が遅いので、本当に受講するかどうかを熟慮の上参加してください。内容は、高校生にも十分理解できると思います。		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	17
大学・短大名	東北学院大学	学部・学科	工学部機械知能工学科
授業科目名	工業英語	担当教員名	加藤陽子
開講期間	9/22～1/26	開講曜日・時間	月 16:45-18:15
受入人数	若干名	会場	五橋キャンパス講義棟 L609教室
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ ②オンラインのみ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	工学分野における英語表現の理解に際し、以下の3点を達成する事を目標とする。 1. 一般的な専門用語を適切に理解し、説明する事ができる。 2. 専門分野における文章を各々適切に分析し、説明する事ができる。 3. 専門分野における文章の論旨を適切に述べる事ができる。		
授業内容・計画等	1.Design: Drawings 2.Design: Design and development 3.Design: Design solutions 4.Measurement: Horizontal and vertical measurements 5.Measurement: Locating and setting out 6.Measurement: Dimensions of circles		
テキスト・教材・参考書等	『Professional English in Use Engineering Technical English for Professionals』M. Ibbotson (Cambridge University Press) (ISBN-13: 978-0521734882)		
履修上の注意			
高校生へのメッセージ等			

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	18
大学・短大名	東北学院大学	学部・学科	情報学部データサイエンス学科
授業科目名	タンキューする科学 ～探求から探究へ～	担当教員名	土原和子、村上弘志、牧野悌也、菅原研
開講期間	6/14～7/12 (6/28を除く)	開講曜日・時間	土 13:30～15:00
受入人数	30名(オンラインは別)	会場	五橋キャンパス 未来の扉センター
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ ②オンラインのみ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	Google Meet		
授業の目標等	具体例にもとづいて仮説を意識した考え方である科学的思考について学び、「探究」に活用できるようになる。		
授業内容・計画等	現在、さまざまな場面で「探究する力」が求められています。「探究」とはなんでしょうか？身の回りのことでもなにか気になることを見つけたらそれが「探究」の始まりです。「問い」を立て、多角的に調査を行うことで、まず「探求」します。そこからさらに理屈を追究することで「探究」へと進んでいきます。この過程で重要なのは、「仮説を意識した考え方(科学的思考)」であり、これによって課題の設定や情報収集がスムーズになります。 本講座では、大学で科学的思考についての講義を担当しているさまざまな分野の研究者が、具体例をもとに探究の手法や実践について紹介します。 第1回(6/14) キッチンでタンキューする (土原) 私たちの身の回りには、実は不思議なことがあふれています。今回はキッチンでできることで科学してみましょ。簡単な実験を交えながらタンキューしましょ。 第2回(6/21) 色をタンキューする (村上) 虹が七色に見えるのはなぜでしょうか？色とはそもそも何か、身の回りのものの色が違って見えるのはなぜなのか。色についての疑問を通して光の性質をタンキューしましょ。 第3回(7/5) 眼をタンキューする (牧野) 錯視とは何か、私たちは錯視図形に何を見ているのか？ パワーポイントを使って錯視図形を作成し実験することで、私たちの眼をタンキューしましょ。 第4回(7/12) 直感をタンキューする (菅原) 「100gの鉄より100gの羽毛のほうが軽そう」のように、感覚と事実食い違いを感じるものが存在します。いろいろな事例を通してそのような食い違いについてタンキューします。		
テキスト・教材・参考書等	参考書:科学的思考のススメ:「もしかして」からはじめよう (ISBN 9784623090280) 担当教員が著書である上記の本の内容を一部含んだ講座です。 資料も配布しますので、参考書がなくてもわかる内容です。□		

履修上の注意	対面の場合は講演を聞きながら一緒に実践できるテーマもあります。 関心のある回だけの受講も歓迎します。大学のホームページにも情報が載るのでご覧ください。
高校生へのメッセージ等	
「探究」と言っても、何から始めて何をどう考えれば良いか、実行するのはなかなか難しいことでしょう。仮説を意識すると探究に活用できるようになります。この講座では、仮説をどのように立てるか、データをどのように活用するか、などを学ぶことができます。「科学」と言っても、難しい理屈や数式は出てきません。科学的思考は身の回りの問題にも役立ちます。さまざまな例を交えてわかりやすくお話しします。各教員の専門分野の話もわかりやすく紹介しますので、大学での研究の一端も知ることができる講座です。	

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	19
大学・短大名	東北学院大学	学部・学科	情報学部データサイエンス学科
授業科目名	自然の科学	担当教員名	村上弘志
開講期間	9/24～1/21 (12/24～1/7を除く)	開講曜日・時間	水
受入人数	若干名	会場	
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等	Google drive		
授業の目標等	科学的な問題に対して論理的な考え方ができる。 宇宙の時間的・空間的な広がりを知り、その中での人類の位置を考えることができる。		
授業内容・計画等	主に天文学についての講義です。これまでの研究成果を紹介しながら本当の宇宙の姿を実感するとともに、その探求の歴史や解明の方法を知ります。また、観測や理論の発展などの実例を通して科学的な考え方に触れます。 第1回 宇宙の歴史と現代天文学の謎 第2回 観測の歴史 I(宇宙観の変遷) 第3回 観測の歴史 II(波長の広がり) 第4回 天体の距離測定 第5回 恒星 第6回 星の輪廻と縮退星 第7回 ブラックホール 第8回 銀河と宇宙の階層構造 第9回 相対性理論の世界 第10回 銀河系の中心 第11回 太陽系天体 第12回 太陽 第13回 地球、月 第14回 宇宙の生命 第15回 まとめの解説		
テキスト・教材・参考書等	動画とPDF資料をGoogle driveで配信します。Chromeなどのブラウザから視聴可能です。テキスト等は不要です。		
履修上の注意	関心のある回だけの受講も歓迎します。		

高校生へのメッセージ等	文系理系両方を対象とした講義で数式などはほぼ使いません。宇宙のことを知るとともに、文系理系に共通して必要となる論理的な考え方を身につけることが目標です。 オンデマンド形式で、開講曜日から一週間程度動画が公開されるのでその間はいつでも受講可能です。

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	20
大学・短大名	東北学院大学	学部・学科	国際学部国際教養学科
授業科目名	グローバル・トピックス	担当教員名	三須拓也
開講期間	6/2～7/28(2か月)	開講曜日・時間	月 16:45～18:15
受入人数	若干名	会場	五橋キャンパス 講義棟L605教室
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	☒ ①対面のみ ☐ ②オンラインのみ ☐ ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	現代の政治経済情勢を理解するには、出来事の歴史背景や他の出来事との関連を理解すべきです。この講義では、身近な問題を手がかりにしながら、その「読み解き方」を学びます。		
授業内容・計画等	1～2 アメリカ社会にみる経済のグローバル化の影響オリエンテーション 3～5 移民とファーストフード 6～7 環境破壊と経済的難民		
テキスト・教材・参考書等	テキストは特にありません。参考図書などは、講義の中で紹介されます。		
履修上の注意	日々のニュースに関心を持ってください。可能なら英字新聞を読みましょう。受講にあたっては私語を慎むこと。		
高校生へのメッセージ等	身近な出来事の細かな点がわかるようになると、現在の世界の姿がわかってきますよ。		

(様式2)

令和7年度公開授業・公開講座用シラバス

		科目No.	No.21(前期)・No.22(後期)
大学・短大名	東北学院大学	学部・学科	教養教育センター
授業科目名	自然の科学	担当教員名	中村教博
開講期間	前期・後期	開講曜日・時間	オンデマンド
受入人数	10名以内	会場	
公開授業・公開講座の形態① ～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的な ウェブ会議ツールの名称等	Youtube		
授業の目標等	「なぜ宇宙は暗いのか?」といった素朴な疑問を持ったことはありませんか?このような素朴な疑問について、現代科学がどのように138億年の歴史を解き明かしてきたか、科学者がどのように試行錯誤してきたかを理解する。この授業では、このような素朴な疑問について各自で調べることで自分ごととして考えた上で、科学者がどのように解明してきたのかを理解する。		
授業内容・計画等	以下の3つができるようになります。 (1) 能動的な学修のスタイルを身につけ、自ら予想して検証することができる。 (2) 138億年という想像を越える長い時間感覚で物事を捉えることができる。 (3) 自分なりの素朴な疑問を持ち、その疑問を解決することに挑戦できる。 授業計画 第1回 【事前学修】高校までに学んできた理科の知識をリスト化しておく 【授業内容】ビッグヒストリーとは何か? 【事後学修】インターネットや図書館で、授業で扱う13の疑問について調べてみる。 第2回 【事前学修】「なぜ宇宙は暗いのか?」について、自分の予想をまとめる。 【授業内容】「なぜ宇宙は暗いのか?」を、138億年前のビッグバンから考える。 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。 第3回 【事前学修】「金やレアアースはどこでできた?」について、自分の予想をまとめる。 【授業内容】「金やレアアースはどこでできた?」を、星の衝突から考える。 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。 第4回 【事前学修】「地球に二酸化炭素は必要か?」について、自分の予想をまとめる。 【授業内容】「地球に二酸化炭素は必要か?」を、暗い太陽のパラドックスから考える。 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。 第5回 【事前学修】「宇宙に生命は存在するのか?」について、自分の予想をまとめる。 【授業内容】「宇宙に生命は存在するのか?」を、フェルミ推定から考える。 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。 第6回 【事前学修】「生命ってなんだ?」について、自分の予想をまとめる。 【授業内容】「生命ってなんだ?」を、アストロバイオロジーの視点から考える。 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。 第7回 【事前学修】「昔から地球は青い惑星か?」について、自分の予想をまとめる。 【授業内容】「昔から地球は青い惑星か?」を、スノーボールアース仮説から考える。 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。 第8回 【事前学修】「化石燃料の石油や石炭はいつ・どこでできたの?」について、自分の予想をまとめる。 【授業内容】「化石燃料の石油や石炭はいつ・どこでできたの?」を、赤潮から考える。 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。 第9回 【事前学修】「人間はなぜ新しいもの好きなのか?」について、自分の予想をまとめる。 【授業内容】「人間はなぜ新しいもの好きなのか?」を、人類史から考える。 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。		

第10回 【事前学修】「ストラティバリウスはなぜ高価なのか？」について、自分の予想をまとめる。
 【授業内容】「ストラティバリウスはなぜ高価なのか？」、小氷河期から考える。
 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。

第11回 【事前学修】「本当に地球は温暖化しているのか？」について、自分の予想をまとめる。
 【授業内容】「本当に地球は温暖化しているのか？」を、グリーンランドから考える。
 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。

第12回 【事前学修】「なぜ温泉に入れるのか？」について、自分の予想をまとめる。
 【授業内容】「なぜ温泉に入れるのか？」を、プレートテクトニクス理論から考える。
 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。

第13回 【事前学修】「なぜ東北大震災は起こったのか？防災はどうすれば良いか？」について、自分の予想をまとめる。
 【授業内容】「なぜ東北大震災は起こったのか？防災はどうすれば良いか？」を、プレートテクトニクス理論から考える。
 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。

第14回 【事前学修】「これからの地球・人類の未来はどうなる？」について、自分の予想をまとめる。
 【授業内容】「これからの地球・人類の未来はどうなる？」を、人工知能から考える。
 【事後学修】授業内容と自分の予想との比較を行い、その違いを示したレポートを作成する。

第15回 【事前学修】自分自身が不思議だと思う、自らの素朴な疑問を考え、オンラインホワイトボード(Miro)にアップロードする。
 【授業内容】138億年の歴史を振り返る
 【事後学修】138億年の歴史を振り返り、自らの素朴な疑問を問い、自分なりに解決してみる

テキスト・教材・参考書等

特になし

参考文献:ビッグヒストリー 明石書店(2016) デイビッド・クリスチャン著

履修上の注意

まずは自分で考えることを習慣化してもらえるような設計にしています。何でもかんでもインターネットや生成AIに聞くのではなく、自分の持つ知識だけで考えをまとめる努力をしてください。

高校生へのメッセージ等

世の中を、億年スケール・宇宙スケールで考え、さまざまな専門分野の組み合わせを俯瞰するメタ思考を身につけてくださいね。